

評価の基準 A・・・よく達成できている B・・・達成できているが課題もある C・・・改善が必要

◎ 教育・保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評価	改善を要する意見及び改善策
教育・保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき、0歳児から小学校就学までの成長を見据え、一貫した保育・教育を行えるよう、本園の保育理念・方針・目標に基づき園児の成長発達に即した教育・保育が実践されるよう、新年度、職員会を行い計画を作成している。</li> <li>・保護者には、入園説明会、園だより個人懇談等で園の方針や目標を伝え理解を促している。</li> <li>・アンケートや連絡帳等の活用などで保護者の意向の把握に努めている。</li> </ul>
	(2) 目標は、施設や地域の特色を生かしているか。	A	
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	A	
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。	B	
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	A	
教育・保育内容について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導計画では、園児の人權や一人一人の個人差・実態を把握しながら作成している。</li> <li>・環境構成については、より園児が興味や欲求を十分に満足できるよう、活動を選択し展開していけるよう職員間で話し合いを重ね、また、柔軟に対応していけるよう心がけている。</li> <li>・家庭との連携を十分に図れるように連絡帳や年2回個人懇談を行い園児一人一人の理解を深め、こども園と家庭が互いに園児の望ましい発達を促すことができるよう努めていく。</li> </ul>
	(2) 認定こども園教育・保育要領に基づく指導援助を適切に行っているか。	A	
	(3) 環境構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	A	
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	B	
	(5) 登園・降園時にこやかに対応しているか。	A	
	(6) 連絡帳・連絡ノート、個人懇談の活用が十分できているか。	A	
	(7) 給食、おやつなどのメニューに偏りはないか。	A	
	(8) 食育計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	A	
	(9) 乳幼児の健康管理を適切に行っているか。	A	
	(10) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	B	
保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健・安全について年間計画を作成している。安全については、火災や地震等の災害は発生に備えて、毎月避難訓練を実施している。</li> <li>また、保健については、看護師が常駐しているため、園児の感染症や保健についての園内研修を行っている。保健・安全計画については、世間の情勢に合わせても練り直していく。</li> </ul>
	(2) 避難訓練・安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	A	
	(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	B	
	(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	B	
日時程	(1) 1日の流れ（デイリープログラム等）は現行でよいか	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心身共に健康な生活へと導けるよう複数の保育者が関わっても一貫性の保育・教育を行えるよう周知を図っている。しかし、園児の状態や日々の状態に合わせて柔軟に展開していくよう努める。</li> </ul>
	(2) 教育保育週数を確保しているか。	A	
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年同様、コロナ禍による行事開催にあたり、人数制限や時間配分など様々なことに対して配慮が必要であった。新たな視点でメリットとなった部分もあり、そのことに対しては今後を生かしていくよう努める。</li> </ul>
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	A	
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。	B	
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	B	
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	A	

◎教育・保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価	改善を要する意見及び改善策	
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員配置や仕事の分担、割り当てなど、キャリアや保育観など個々の知識や経験も踏まえながら適切な役割分担を心がけている。</li> <li>園全体の組織の向上につながるよう心がけていく。</li> <li>シフト勤務のため、出勤時間や退勤時間が異なるので、報告、連絡、相談が怠らないように職員間で情報の共有を密に図れるようにしている。</li> <li>日頃より、職員会議を行い、記録や振り返りの場を持つように心がけている。また、ケース会議など迅速に話し合いの場を設けることもある。</li> <li>職員間で互いに情報や意見を交換し協力体制をつくるよう努めていく。</li> <li>自己評価でも個々で振り返りを行い次年度に新たに目標を決め、スキルアップを目指している。</li> </ul>
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	A	
		(3) 職員の配置は適材・適所か。	A	
		(4) 係りや仕事の分担・割り当ては適切か。	B	
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	B	
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	B	
		(3) 打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。	B	
	年齢別・クラス経営	(1) 年齢別・クラス目標は、教育・保育目標や重点目標に基づいて設定しているか	A	
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	A	
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	B	
		(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	B	
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。	B	
(6) 評価、資料（諸記録）を集積しているか。		A		
研究・研修	園内研修	(1) 研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。	B	
		(2) 園内研修の計画・運営は適切か。	A	
		(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。	B	
		(4) 研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。	A	
	園外研修	(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	A	
		(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	B	
情報について	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	A		
	(2) 公文書收受、発送、処理を適正に行っているか。	A		
	(3) 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	A		
施設・設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	A		
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	A		
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。	B		
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切、且つ、効果的に活用しているか。	A		
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	A	・税理士事務所による検査を毎月、実施している。	

◎地域の中の就学前教育施設に関する評価

項目	内容	評価	改善を要する意見及び改善策	
開 か れ た 認 定 こ ど も 園 づ く り	施設 間 交 流 ・ 連 携	(1) 小学校等との年間交流計画は、教育・保育目標や課題に添ったものになっているか。	B	・コロナ禍により、小学校・中学校との交流は実施することが難しかった。 しかし、昨年度の目標であった公開保育として園児の就学先である小学校の教職員の方に参観していただくことができ、園児の活動の姿や引継ぎとしての場となった。今後もよりスムーズな連携になるように続けていきたい。
		(2) 小学校等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。	B	
		(3) 保育教諭同士が、打ち合わせや事前研修・合同研修を行い互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。	A	
		(4) 参観や保育・授業等に参加するなどして、小学校等の教育を理解しているか。	A	
		(5) 日常的に情報を交換し、それを交流活動にいかしているか。	B	
	家 庭 ・ 地 域 と の 連 携	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。	B	・地域交流や高齢者など幅広い世代との交流がコロナ禍により実施が難しかった。間接情報に囲まれて生活している実態から様々な体験が得られる機会を設けていくよう努める。
		(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。	B	
		(3) 乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	B	
		(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	A	
	子 育 て 支 援 の 推 進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭やリズム室、子育て支援室等を開放しているか。	A	・年2回ほど市の保健師や専門機関の方が園に訪問し巡回相談を行っている。また、支援施設利用園児の訪問支援などの専門機関との連携を図り、個別指導計画を作成している。 園内においても専門性を生かし、保育教諭や看護師、栄養士が一体となり子育て相談などの支援をしていけるよう努める。
		(2) 地域に住む子ども同士、あるいは親子が一緒に遊ぶことのできるような場の設定を行っているか。	A	
		(3) 地域の実態を捉え、計画的な預かり保育を行っているか。	A	
		(3) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。	C	
		(4) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	B	
	(5) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	B		
	情 報 の 発 信	(1) 園だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	B	・園だよりやケーブルテレビ、地域の情報誌への投稿などを利用し発信を行っている。 また、マチコミメールにて災害時や感染症の発信を行っている。
		(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。	B	
	外 部 評 価	(1) 第三者評価や学校評議員会等を導入し、園運営に反映しているか。	B	・保護者アンケートや年2回の個人懇談等を実施し様々な意見や地域からの意見も考慮し、今後の運営に活かしていく。
		(2) 地域や保護者の意見を園運営に反映しているか。	A	